

研究実施責任者	プロジェクト名	期間	配分額(円)
文化学部・准教授 飯高 伸五	永国寺キャンパスを拠点とした地域文化資源の 保存・整備と利活用に関する実践的研究	R1-R2	1,721,000
研究概要			
<p>本事業の目的は、これまで本学教員が取り組んできた地域貢献活動を発展させ、知の拠点・永国寺キャンパスを中心として、地域文化資源の保存・整備に関わる実践的な取り組みを行うこと、学内外における幅広い利活用や情報発信に向けて体制を構築することである。</p> <p>具体的に以下の4点を中心に事業を進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 図書館蔵書を含む本学所蔵資料を活用した企画展示等の実施 (2) 活字文化の普及活動として地元書店や図書館と連携したブックフェアの開催 (3) 消滅の危機に瀕する地域文化に関する非文字資料の収集および情報発信 (4) 災害発生時の有形無形文化財レスキューのシミュレーション <p>オーテピア高知図書館など周辺の文化施設および関連団体との緊密な連携の下に事業を実施する。同時に広く学内連携を図り、地域文化資源の保存・整備および利活用を学際的視野から検討し、進めていく。</p> <p>地域文化資源の保存・整備および利活用に関わる諸活動を実施することで、地域文化資源に対してどのような立場を取り、教育研究を進めていくのかと世間に明示するとともに、近隣の文化施設等との効果的な連携を通じて「知の拠点」を活用して独自の地域貢献がいかに可能かを模索していく。</p> <p>本研究の意義としては、これまで十分に認知されてこなかった「知の拠点」の具体的なコンテンツを社会に開きながら、地方大学における実践的な地域連携モデルを提示することにある。近隣文化施設と連携しながら「知の拠点」のコンテンツを有効活用するモデルを提示し、高知の文教エリアにおける地域文化資源の活用方法を提示することにも繋がる。高知における地域文化資源の整理はオーテピア高知図書館や高知城歴史博物館などの近隣の文化施設を中心に進められているが、この研究を通して地域文化資源の保存・整備および利活用に対して本学の立場を明示することができる。</p> <p>災害時の文化財レスキューをシミュレーションする本研究の成果は、学内の様々な研究分野の教員によって応用が可能であり、今後の学内連携の深化に繋がることが予想される。</p> <p>またシンポジウムの開催を通じて、県内における地域文化の記録・研究をすすめる意義を確認すると同時に、文化財および地域資料・図書的重要性および価値を広く一般にも広め、さらには地域あるいは大学における資料保存のあり方や方向性を検討することに寄与できる。</p>			

研究 成 果

本事業の目的は、知の拠点・永国寺キャンパスを中心として、地域文化資源の保存・整備に関わる実践的な取り組みを行うこと、地域文化資源の学内外における幅広い利活用や情報発信に向けて体制を構築することであった。とくに、オーテピア高知図書館および高知県立大学永国寺図書館にて、本学教員の専門性を活かした書籍展示を行い、あわせて展示書籍の解題を収録したブックガイドを作成した。オーテピア高知図書館では、2019年度には「越境する人々 移住・移民を考えるための50冊」および「高知パルプ生コン事件をめぐる100冊－高知の過去・現在・未来」、2020年度には「英語を学ぶための30冊－英文法・英文学からのアプローチ」「三島由紀夫没後50年－三島由紀夫文学を読む・知るための30冊」「医療衛生と地域・身体をめぐる50冊－木村哲也の世界を手がかりに」の展示企画を実施した。高知県立大学永国寺図書館では2019年度に「文学者の〈南洋〉体験－中島敦」「南米と日系人」「アーカイブズと史資料保存」、2020年度に「三島由紀夫文学を読む・知るための30冊」などのテーマで書籍展示をおこなった。また、永国寺図書館には高知に関連する映像作品を集約的に配架するとともに、本プロジェクト参加者が新たに発掘された資料や流通が限定的な資料をオーテピア高知図書館に寄贈するなど、地域文化資源の充実を図った。

高知を題材とした映画作品、高知を舞台とした映画作品、高知の団体や組織が作成した映像作品などを集中的に収集し、永国寺キャンパスに配架し、今後の企画展示等に利用可能にした。さらに、オーテピア高知図書館でも蔵書点数が限られている貴重資料などを収集し、今後の研究等に活用できるようにした。

活字文化の普及活動として、オーテピア高知図書館との連携企画を実施した。オーテピア高知図書館での展示終了後、永国寺図書館でも学内利用者向けに関連展示企画を実施した。

ドキュメンタリー映画監督に聞き取り調査を行い、戦争や災害を記録することの意義について論考が学術誌に掲載された。

成 果 物 等

【学術論文】

1. 飯高伸五・一色健司・宇都宮千穂・清水直樹・田中裕也・吉川孝（2022）「永国寺キャンパスを拠点とした地域文化資源の保存・整備と利活用に関する実践的研究」『高知県立大学文化論叢』10: 13-17

【報告書】

1. 吉川孝：ドキュメンタリー映画は思考する：松林要樹監督インタビュー「放射能のある風景」、（紹介文・企画・構成担当）『フィルカル』6-1号
2. 吉川孝：「ドキュメンタリー映画は思考する：松林要樹監督インタビュー「戦争の記憶をよびおこす」、（紹介文・企画・構成担当）「戦争の記憶をよびおこす」『フィルカル』6-2号

【冊子（ブックガイド）】

1. 『越境する人々 移住・移民を考えるための50冊－人文・社会科学からのアプローチ－』
2. 吉川孝・森明香（編）『高知パルプ生コン事件をめぐる100冊－高知の過去・現在・未来－』
3. 金澤俊吾・鳥飼真人『英語を学ぶための30冊－英文法・英文学からのアプローチ－』
4. 田中裕也『三島由紀夫文学を読む・知るための30冊－日本近代文学からのアプローチ－』
5. 飯高伸五・川本美香・吉川孝『医療衛生と地域・身体をめぐる50冊－木村哲也の世界を手がかりに－』
6. 高知県立大学文化学部編『文化の思索』

【パンフレット】

1. アテラーノ旭まちあるき部会・宇都宮千穂『一人ひとりの記憶をまちの記憶に』2020年

【展示企画】

1. 企画名：越境する人々 移住・移民を考えるための50冊
期 間：2019年11月12日～2020年1月13日
場 所：オーテピア高知図書館3階 ビジネス・科学・産業・農業スペース
2. 企画名：高知パルプ生コン事件をめぐる100冊－高知の過去・現在・未来－
期 間：2020年1月21日～2020年4月26日
場 所：オーテピア高知図書館3階 高知資料コーナー
3. 企画名：文学者の〈南洋〉体験－中島敦
期 間：2020年1月21日～2020年2月2日
場 所：高知県立大学永国寺図書館1階 展示スペース
4. 企画名：南米と日系人
期 間：2020年3月9日～2020年4月末
場 所：高知県立大学永国寺図書館1階 展示スペース
5. 企画名：アーカイブズと史資料保存
期 間：2020年3月9日～2020年4月末
場 所：高知県立大学永国寺図書館1階 展示スペース

6. 企画名：英語を学ぶための 30 冊－英文法・英文学からのアプローチ－
選書・解説：金澤俊吾・鳥飼真人（高知県立大学教員）
期 間：2020 年 8 月 1 日～2020 年 9 月 22 日
場 所：オーテピア高知図書館 3 階 高知資料－展示 A
7. 企画名：三島由紀夫没後 50 年－三島由紀夫文学を読む・知るための 30 冊－
選書・解説：田中裕也
期 間：2020 年 11 月 1 日～2020 年 11 月 29 日
場 所：オーテピア高知図書館 3 階 本棚
8. 企画名：医療衛生と地域・身体をめぐる 50 冊－木村哲也の世界を手がかりに－
選書・解説：飯高伸五・川本美香・吉川孝
期 間：2021 年 2 月 17 日～2021 年 4 月 3 日
場 所：オーテピア高知図書館 3 階 高知資料－展示 A
9. 企画名：三島由紀夫文学を読む・知るための 30 冊
選書・解説：田中裕也
期 間：2021 年 3 月 5 日～2021 年 5 月 14 日
場 所：高知県立大学永国寺図書館 1 階 展示スペース

【上映会】

1. シネマ・フィロソフィア 3.11 上映会
日 時：2020 年 1 月 17 日
上映場所：高知県立県民文化ホール第 6 研修室
講 演：「浦戸湾と江ノ口川の歴史」（田中正晴）
上 映：『よみがえれ！浦戸湾』（1972 年）

【講演会】

1. 講演演題：中島敦と〈南洋行〉
講 師：杉岡歩美（同志社大学）
日 時：2020 年 2 月 1 日 14:00～15:30
場 所：高知県立大学永国寺図書館 1 階ディスカッションルーム
参加人数：17 人

【地元書店イベント】

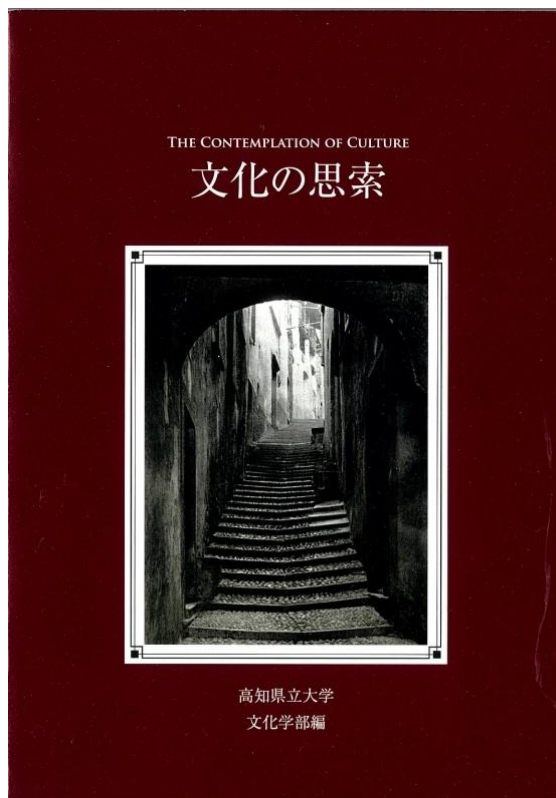
1. イベント名：「定期市を文化財に！」

話 者：山本志乃（旅の文化研究所）、宇都宮千穂（高知県立大学）

日 時：2020年7月21日 16:00～17:30

場 所：蔦屋書店2階 イベントスペース

来場者：10人



『越境する人々 移住・移民を考えるための50冊』刊行記念
連続公開講演会 第1回

中島敦と〈南洋行〉

講師：杉岡 歩美

日時：令和2年7月1日（土）
14:30～15:30

場所：高知県立大学永国寺図書館
1階ディスカッションルーム

講師紹介
杉岡歩美（すぎおか あゆみ）
大阪府生野区。同志社大学大学院博士課程修了（2015年）。博士（国文学）。現在、同志社大で、京都府立大学など非常勤講師。おもな著作に『中島敦と〈南洋〉—同時代〈南洋〉表象とテキスト生成過程から』（解題書局、2016年）などがある。

主催：高知県立大学戦略的研究推進プロジェクト「永国寺キャンパスを拠点とした地域文化資源の保存・整備と利活用に関する実践的研究」
問い合わせ先：088-821-7175（文化学部事務室）
*申し込みは不要ですが、永国寺図書館の入館には利用登録が必要です。詳細は右記URLかQRコードからご参照ください。 <http://icuk.co.u-kochi.ac.jp/library/gakugai.html>



『越境する人々 移住・移民を考えるための50冊』刊行記念
連続公開講演会 第1回

中島敦と〈南洋行〉

講師：杉岡 歩美（同志社大学）

主要著作『中島敦と〈南洋〉』（翰林書房、2016年）

日時：令和2年2月1日（土）14：00～15：30

場所：高知県立大学永国寺図書館1階ディスカッションルーム

主催：高知県立大学戦略的研究推進プロジェクト
「永国寺キャンパスを拠点とした地域文化資源の
保存・整備と利活用に関する実践的研究」
問い合わせ先：田中裕也・飯高伸五（文化学部）